

すいかの名産路

「東北中央自動車道」
「尾花沢新庄道路」
通信

第3号 平成22年10月 発行

工事紹介

袖崎北地区道路改良工事(東北中央道)



工事箇所

- C 盛土
- B 盛土
- A 盛土

- 袖崎北地区道路改良工事
(東北中央自動車道)
- 請負者：(株)柿崎工務所
- 工期：H22年6月～H22年12月(予定)

本工事は、東北中央自動車道整備事業の一環として、村山市大字土生田地内において、道路改良事業の促進を図っています。
←●の箇所で載荷盛土をしています。

軟らかい地盤の上に構造物を造るとき「載荷盛土(さいかもりど)」という方法を紹介しますよ。



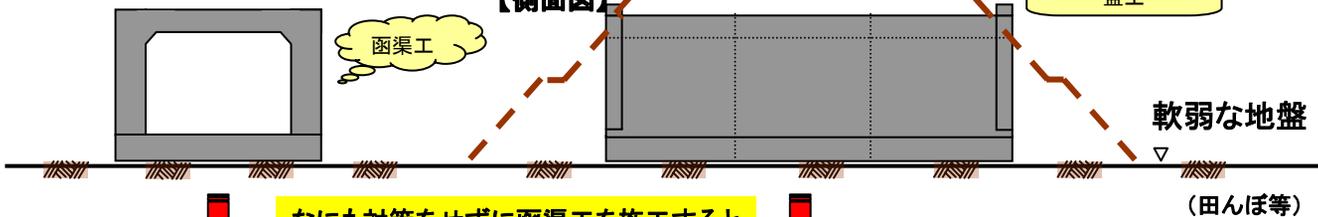
軟弱地盤での構造物の造り方(載荷盛土)

■載荷盛土とは・・・
軟弱地盤を強くするために、あらかじめ土を盛って地盤を沈下させ、構造物を造った後に沈下量を減少させる工法です。

■ボックスカルバート：(函渠) ■高速道路が出来ることで遮断される農道等を通れるようにするトンネル

【断面図】

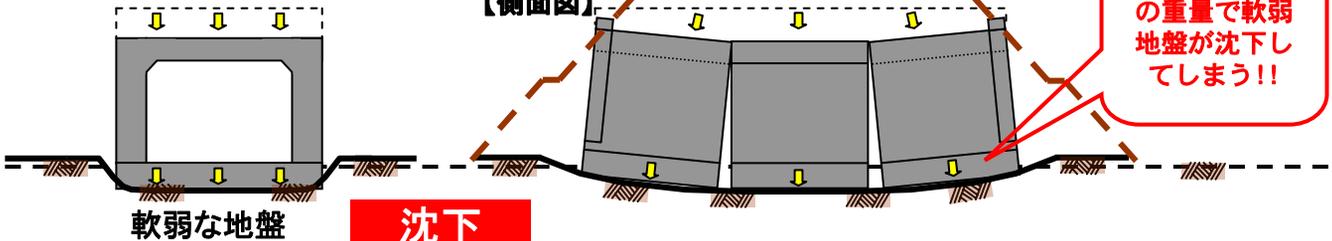
【側面図】



なにも対策をせずに函渠工を施工すると

【断面図】

【側面図】

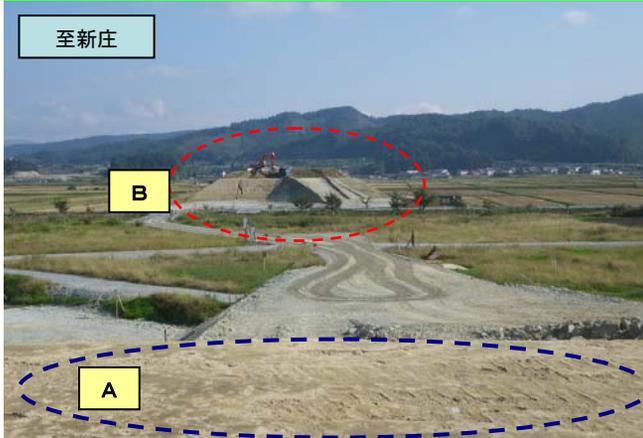


皆さんの疑問にお答えします！

以前、『せっかく土を高く盛ったのに、なぜ撤去するのか？』という問い合わせがありました。

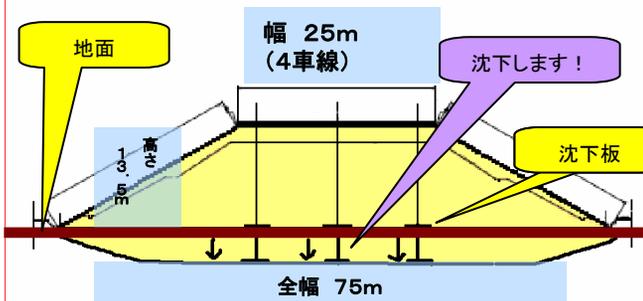
それは、軟弱地盤を強くするために一度地盤を沈めて、それから道路や水路を通す構造物造っていくからです。今回は、その方法について詳しくご説明したいと思います。

■道路、水路と交差する箇所に载荷盛土して地盤を沈下させ、安定させます。



ここは村山市土生田地区です。高速道路は、田園地帯を通過します。元々、田んぼは地盤が軟弱なので、盛土すると沈下します。

载荷盛土標準断面図



四ヶ月で一つの盛土が完成します。急激に土を盛ると、周りの田んぼが浮いてきたり、様々な影響を与えてしまいます。3日で30cmと、ゆっくり積み上げます。

■沈下状況は毎日計測しています。



盛土して3ヶ月から半年で、どのくらい地盤が沈むか毎日計測しています。

こちらの現場では、2ヶ月半で約10cmの沈下が確認されました。最終的には、20～30cm沈む予測です。

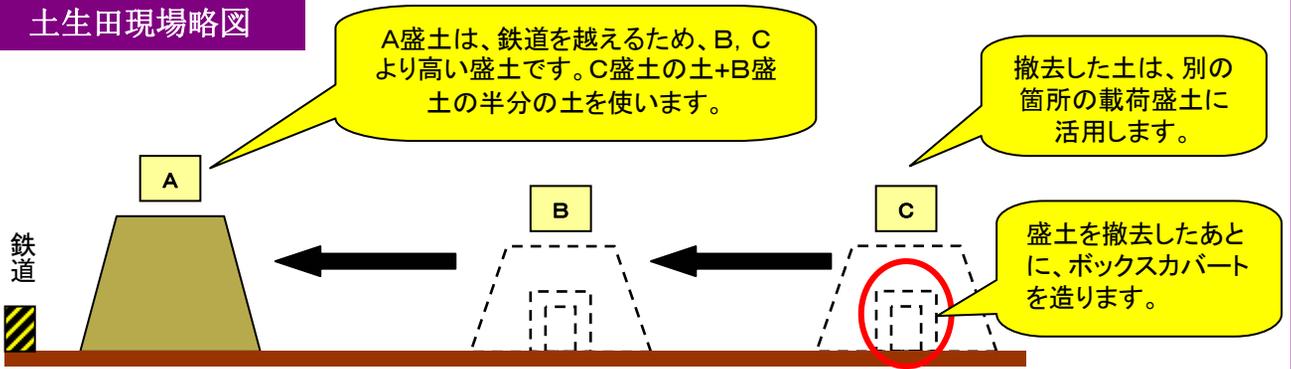


工事中の盛土の下には、地盤沈下を測定する道具が埋まっています。



2010年10月8日現在
北側よりA盛土を撮影しました。これから、赤線の高さまで土を盛っていきます。今盛ってある土の高さのおよそ2倍になります。

土生田現場略図



■沈下が収まったのを確認して

沈下が収まったのを確認して、盛土を撤去して、道路、水路を通す構造物(ボックスカルバート)を造ります。



VOICE 現場の声

管理用通路のあるものもあります。



▲現場代理人
荒川さん

はじめまして、現場代理人の荒川です。10月6日をもちまして、2つある載荷盛土のうち一つを撤去、運搬致しました。工事も近隣の皆様、道路を利用する方々のご協力により順調に進んでおります。盛土の施工が12月中旬(予定)まで続きます。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



▲監理技術者
犬飼さん

この工事は、今年6月より行っており工事施工に伴い、農道迂回路等によりご迷惑をおかけしておりますが、ご協力の程よろしくお願いします。また、載荷盛土に関して、一般の方より「盛っていた土を撤去したり無駄な事してるのではないか？」などとたまに言われる事もありますが、決して無駄なことをやっている訳ではありませんので、このホームページを通しご理解の程、よろしくお願いします。



▲現場代表
柿崎さん

現場で働く一番若い方から一言

はじめまして、コンクリート構造物の施工を担当しています柿崎です。高速道路が出来ることにより近辺の地域活性化に繋がるので、早期開通を目指して自分の力を発揮して工事を進めて行きたいです。



ご意見
ご感想を
お寄せ下さい

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 尾花沢監督官室
〒999-4221山形県尾花沢市尾花沢字田町143-1番地(尾花沢国道維持出張所内)

TEL:0237(23)2521 FAX:0237(23)2523

尾花沢国道維持出張所ホームページ<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/obaiji/index.html>

「尾花沢国道維持出張所」で検索してもOK。